



特集

気になる対談 vol.6

代表取締役 藤本誠二 × 統括部長尾崎靖士

藤本：いよいよ 2019年がスタートですね。

尾崎：そうですね！「増税」に「新元号」に…どんな1年になるんでしょうか。

藤本：昨年、ベストホームでは、人生100年時代に向けて2つの大きなチャレンジを始めました。

1つは、リハビリ特化型デイサービス『コンパスウォーク』をオープンしたこと。もう1つは、部分断熱という新しい形の断熱リフォーム『暖らんリフォーム』を始めたことです。約35年といわれる老後生活を、住み慣れて愛着のある我が家で元気に楽しく過ごしてほしい!! 建物も住む人自身も健康に過ごすため、全力で応援したい!! という思いからのスタートでした。

尾崎：とにかくこれからは『健康』がキーワードですね！ お家のメンテナンスとご家族の「健康」をもっと応援していくため、2019年は、より進化していく予定です！



藤本：コンパスウォークは別会社として立ち上げていますが、理学療法士という、ベストホームにはない知識を持ったスタッフが在籍していますし、逆にコンパスウォークから見れば弊社にいるプランナーは住宅リフォームのスペシャリスト達なワケです。

身体と住まいの両面から地域の人々を応援する新しい流れを作りたいです！

尾崎：それこそ先日ね、たまたま実家に帰った時、親父が晩酌していて、「トイレに行く」と廊下に出たとたん倒れたんですよ。

藤本：えー！

尾崎：今ではよく聞くようになった「ヒートショック」を目の当たりにしました。たまたま自分がいたから良かったけど、非力な母親だけだったらと思うとぞっとしましたね。どの家でも部屋が暖かく、廊下が寒いのが当たり前になっているけど、冬の住宅の温度差って実は怖いものだし、日頃からヒートショックになってしまう可能性があったんだねと家族で話しました。

藤本：ヒートショックでの死者は、交通事故死者の約4.4倍というデータがあるけど、これは本当に他人事ではないよね。海外では、「室温が16℃を下回る家は危険」として広く認知されているのに、日本では家のつくりと自分の健康が直接関係していると思っている人

はほとんどいない。この季節だと室内でも10℃を切ることも結構あるからなあ～。毎日死と隣り合わせになっているおそれだってあるんです。

尾崎：ですね。お風呂は特に注意が必要ですが、家の温度差を減らすことで家族皆が安心して快適に暮らすことができます。温度差の解消が大きな課題ですね。今、高血圧を抱えている方も多いと思うのですが、実はその改善にも、この断熱リフォームが注目されているんです。医療の視点からも協力してもらって、広めていきたいですね。

藤本：先ほど話に出た理学療法士や、お医者様の意見なども聞き入れたリフォームをするべきなんです。それって本当に大変で、誰もやりたがらないことなんだけど、私たちベストホームはそこを目指しているんですよね。

尾崎：僕も長い間この業界にいるけど、医療からの視点って、確かに今まで無かったんですよ。だからこそ進めていきたいし、協力してくれる仲間も探していく。…実はこのワッツアップをお届けしている、私たちのお客様の中にそういう方がいるんじゃないかなと思っていて。お医者様をはじめ、高齢者施設で働いてい



たよ、という方が手を挙げてくださったら、本当に素晴らしいコラボレーションが出来て、地域の皆様にも貢献できるし、そうなったら本当に素敵だなと考えています！

藤本：個々で持っている知識やスキルを融合していくば、もっともっと良いものが出来ると思うんだよね。分野の壁を越えて視野を広げていかなきゃいけない。

尾崎：「住宅改革」ですね。難しくて誰もやらないことだけど、誰もやらないことだからこそ挑戦したい。

藤本：そう。今年は「住宅改革」をテーマに、お客様の人生100年の健康と住環境に新しいご提案をしていく予定です！



あったか暖らんリフォーム 完成現場見学会
完全予約制 1月19日(土)・20日(日) 10:00～16:00

場所：中区山崎モデルハウス ※イベント詳細・ご予約は 0120-75-5526 へ
お客様のご都合に合わせ、上記日程以外でも見学会を開催いたします。お気軽にお問い合わせください。



予約開催
実施中



屋根外壁塗り替えセミナー
2月17日(日)14:00～15:30 岡山ふれあいセンター第2研修室

予約優先 □壁を触ると粉がつく □築10年以上経過している □訪問業者からの電話がしつこい □見積り金額の妥当性がわからない上記のような気になる点がある方は、ぜひお越し下さい。専門の資格を持ったプランナーがお話をうかがいます！

